



「こんなに大きいほおずき見たことがない！」

多くの方から驚きの声を頂いている「六本木朝日神社 ほおずき市」。今年も7月10日(金)・11日(土)の2日間開催いたします！

今年で11回目を迎える「朝日神社 ほおずき市」は、全国ではじめて「森林セラピー®基地」に認定された宮崎県日之影町が主催となり、関東地方などの7月盆の時期に合わせて開催しております。お盆に飾る「ほおずき(鬼灯)」は、精霊が迎え火や提灯の灯りを頼りに集まるとの言い伝えから、赤いほおずきを提灯にみたくてお盆に飾るようになったと言われます。また朱色が持つ「魔(災)除け」の性質から玄関に飾り商売繁盛・無病息災を願う習慣もあるようございます。「日之影町産ほおずき」は生産者の方々の試行錯誤の賜り物である「実が大きく鮮やかな朱色」が特徴で、お蔭さまで来場された方々から多くの驚きの声をいただいております。東京六本木という街で、特産品となりました「ほおずき」を通じて、都市に暮らす皆様が古来のお盆の習慣と日之影町の自然や山村文化に対して親しみを持っていただければ幸いです。



スミソニアン国立自然博物館や大英博物館にも収蔵されている「名工 廣島一夫氏」で名高い日之影町の竹細工も展示(一部販売)



宮崎県日之影町特産品即売会も開催

「森林セラピー®基地」認定!

癒しのふる里～宮崎県日之影町

宮崎県の北部に位置する日之影町は、227.68平方キロメートルと広大な面積を有し、約92%を森林で占める豊かな自然環境と豊富な山村文化をもつ地域です。北側の一部は祖母傾国定公園区域に指定され、主峰の傾山、矢筈岳、丹助岳、五葉岳などの森林景観は癒し機能とともに五ヶ瀬川には、日之影川、綱の瀬川などの清流が注がれ深いV字谷を形成しており、春の新緑をはじめ、夏の清流や秋の紅葉、冬の静溪などは、四季折々の森林景観を楽しませてくれます。

こうした中、平成18年4月、「森林セラピー®基地」の認定を受けました。森林セラピーとは、整備された森林環境の中で、自然が彩なす風景や香り、音色や肌触りなど、森のいのちや力を感じることによって、私たちの心身に元気を取り戻させようとするもので、森林のもつ「癒し効果」を科学的に解明し、健康増進やリハビリテーションへの活用とともに、そのメニューを確立することをいいます。

平成17年に行った生理・心理実験等では、唾液の中の cortisol という「ストレスホルモン」が都市部に比べ、森林では濃度が低くなるということが分かりました。また、心拍の「ゆらぎ」の測定で、ストレスの高い時に高まる「交感神経」が抑制され、リラックスした時に高まる「副交感神経」が昂進するということや脳の活動も森林では鎮静化され、リラックスしていることなどが立証されました。



列車の宿



癒しの足湯



森林ウォーク